

あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌 2014 年夏号 (年 4 回発行)



医療安全と地域包括ケア病棟

特任副病院長 兼 整形外科部長 徳海 裕史

昨年7月から医療安全に今まで以上に力を注ぐようにと1年限定で特任副病院長に命じられて1年が経過しました。医療安全に関しては2004年以来担当しており、現在は毎週の医療安全ミーティング、毎月の医療安全委員会ならびにリスクマネジメント委員会、毎月の医療安全の院内ラウンドで多くのメンバーとともに活動しています。そしてインシデント・アクシデントレポートをはじめとして様々な形で情報を収集し、問題事象をできるだけ早期に取り上げ、検討し、対策

を挙げて改善していくよう努めています。これからもさらに患者さん・医療従事者・医療関係者・地域の方々へより安全な医療文化を発信していけるよう努めていきたいです。

また、本年7月からは地域包括ケア病棟の立ち上げにも力を注ぐために、特任副病院長を継続することになりました。地域包括ケア病棟は本年度から新設されるもので 1) 急性期病床からの患者さんの受け入れ、2) 在宅等にいる患者さんの緊急時受け入れ、3) 在宅への復帰支援という3つの機能を有しており、当院も本年10月からの立ち上げを目指しています。高齢者が増加の一途をたどる時代において、病気が治りさえすれば病院の役目が終わるわけではなく、いかに憂いなく退院、その後の生活へつなげるかが重要な問題です。この役割は医師ならびに看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、事務職員など多職種の人間の協力で行われるべきものであります。そこには良好なコミュニケーションが必要で、この点は医療安全に通ずるものがあると思います。また在宅となれば、地域により密着したクリニックとの連携や介護保険を利用した介護サービスの充実も生活支援の上で重要です。地域に頼りにされ、また頼りになる地域中核病院を目指して励んでいきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様によりやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

40代から気をつけたい婦人科の病気

40代になると、加齢に伴う身体の変化が徐々に現れてきます。卵巣の働きは少しずつ低下しますから、それに伴う症状が「更年期障害」として現れてくることもあります。また、徐々に大きくなった子宮筋腫が原因で、知らず知らずに月経量が多くなり、そのために貧血がひどくなって動悸や息切れがしているのに「年のせいかな」と我慢してしまったり、大きくなった卵巣が原因で下腹部が膨らんできているのに「中年太りかな」と見過ごしてしまうような場合も、時としてあるようです。

婦人科の病気が有るのか無いのかは、産婦人科医の診察を受けることで診断されますが、次のような症状の有り無しでも、ご自分で、ある程度の自己診断は可能かもしれません。



産婦人科部長
うちで きよし
打出 喜義

① 突然と汗が出る

周りの人が暑いと言っていないのに、自分だけ突然と汗が吹きでる。これは「ホットフラッシュ」と呼ばれる症状で、卵巣の働きの低下によるものかも知れません。

夜、汗が出て、そのために目が覚めるようなことが重なれば、慢性的な睡眠不足になってしまい、日中も眠く、だるくなりますから、周りからは「うつ」のように見えてしまいます。このような場合には「ホルモン補充療法」が奏効することもあります。



② 動悸・息切れが少しずつひどくなる

月経量を他の人と比べてみるようなことは、なかなかしませんよね。また、年齢とともに月経の量が少しずつ増えてきたような場合には、もし若い頃と比べることができたなら確実に増えてきていると判るにもかかわらず、昔のことは忘れて、ついついそれが「普通の量」だと思ってしまい、過多月経による貧血の進行に気付かない場合があります。

月経の時に固まりが出るようになって、それに加えて動悸や息切れがするようになった場合には、過多月経の一つの原因となる子宮筋腫の有無の診断や治療が必要になるかもしれません。



③ 帯下に色がつく

卵巣の働きが低下すると外陰部や膣に傷がつきやすくなるので、性交などの刺激により出血し、帯下に色がつくことがあります。このような場合には、その原因は明らかですから、みなさんそれ程心配なさらないようですが、そうした覚えもないのに帯下に色がつくような場合には、やはり注意が必要です。

その原因の多くは、膣炎や子宮の出口にあるポリープといった良性疾患ですが、子宮頸がんや子宮体がんなど悪性疾患がその原因となる場合もありますから、帯下に色がつくような場合には、是非、産婦人科への受診をお勧めします。

④ 下腹部が出てきた、くしゃみなどで尿が漏れる、尿が近くなる、便秘になる、腰が痛い

これらの症状が、徐々に強くなってきたような場合にも、産婦人科受診をお勧めします。

なぜなら、卵巣や子宮が腫れてメロン程度の大きさになっても、痛み等の症状は出ないことが多いからです。大きくなった子宮筋腫が原因で、このような症状が出るのならまだ良いのですが、卵巣が大きくなってこのような圧迫症状が出てきたような場合には、卵巣がんの心配も出てくるからです。



<40代からの人生を健やかに過ごすために>

日本人女性の平均寿命は86歳です。40代と言え、人生をマラソンで喩えるなら、丁度、折り返し点にあたりますから、今ある身体を大切に、残り半分の人生を健やかに過ごす必要があります。

「医食同源」と言われますが、なるほど、私たちの身体は毎日の「食」から成り立っています。毎日の「食」が悪ければ私たちの身体も次第に蝕まれていく、反対に良い「食」であれば身体も良くなっていく、これは一つの道理でしょう。

40代からの人生を健やかに過ごす極意、それは、日頃からの生活習慣に気をつけて自分自身の身体の変化に注意するといった、私たちのほんの身近なところにあるのでしょう。

連携登録医のご紹介

今回は、平成8年11月に開院された『加藤クリニック』をご紹介します。

大学病院で様々な脳神経外科手術に携わり、悲慘な後遺症で苦しむ方々も少なくありませんでした。脳卒中に対する予防治療の重要性を痛感して、平成8年に開業してから18年が経過いたしました。

脳卒中、頭部外傷、頭痛、物忘れ、顔面の痙攣や痛み、手足のしびれ、腰痛など気軽に受診できるクリニック、MRIを駆使して高い診断レベルを保つ、大病院にはない利便性を提供する事などを理念として参りました。

地域の方々からは、かかりつけ医の役割も要求され、様々な健康相談を受けます。浅ノ川総合病院始め近隣の先生方には大変お世話になり感謝しています。患者さんから紹介先の先生が親切に診て下さったとの報告は、かかりつけ医としての大きな喜びです。

悪性脳腫瘍の術後治療から足裏の鶏眼（ウオノメ）処置まで！町の脳外科医の奮闘は続きます。



MRI

連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



かとう まさる
[院長 加藤 甲 先生]

生年月日：昭和27年12月4日

出身地：石川県羽咋郡志賀町高浜町

専門：脳血管障害、くも膜下出血、顔面痙攣、三叉神経痛、脳腫瘍、脊椎疾患

昭和54年4月 金沢医科大学脳神経外科学教室入局

昭和60年8月 日本脳神経外科学会専門医

日本脳神経外科学会評議員

平成8年11月 加藤クリニック開業

この間、浅ノ川総合病院・砺波総合病院・高岡市民病院・水見市民病院・金沢脳神経外科病院などに勤務。

加藤クリニック

院長：加藤 甲

診療科：脳神経外科、神経内科、整形外科
リハビリテーション科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:30～18:00	○	○	/	○	○	/	/

休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

住所：〒920-0003

石川県金沢市疋田2丁目39番地

電話：076-257-7771 駐車場：あり



部門紹介：臨床工学部

患者さんに安全な医療機器を提供し、安心して治療を受けて頂けるよう日々保守点検に努めています。



臨床工学技士は、1988年に法律が成立し翌年1989年に第1回の国家試験が行われました。それから25年という医療国家資格としては比較的新しい資格です。しかし、その業務内容は多岐にわたりとても重要な業務です。

当院で臨床工学部が設置されたのは2005年。それまでは透析センターの臨床工学技士として業務に就いていました。それから9年が経過し、院内でも臨床工学部の必要性がかなり認知されてきたように思います。

現在部員は8名で日々の業務に就いています。

臨床工学技士の主な業務内容

呼吸管理業務

全国でも数少ない人工呼吸管理専門病棟である呼吸センターで、人工呼吸器、生体情報モニターの管理を担い、他のメディカルスタッフと連携し患者さんの安全確保に努めています。

手術室業務

麻酔器をはじめ、手術前使用機器の始業点検及び使用後の点検。また、手術中の治療支援業務にも就いています。

血液浄化業務

県下最大級である透析センターで、透析用監視装置90台の管理をはじめ、人工腎臓(ダイアライザ)、血液回路等の物品を管理、そして、安全な透析液を供給するため厳正な水質管理を行っています。また、透析治療を行うにあたり、技術的な支援や治療中の安全確保に努めています。透析センターへ移動困難な重症患者に対しては、各病棟ベッドサイドでの透析を実施。敗血症、多臓器不全、急性腎不全に対する持続的血液浄化療法(CHDF)やエンドトキシン吸着療法も行っています。その他、難治性腹水症患者に対する腹水ろ過濃縮、閉塞性動脈硬化症(ASO)に対するLDL吸着療法も我々臨床工学部で実施しています。

保守点検業務

輸液ポンプ、シリンジポンプ、除細動装置(DC、AED)、各病棟モニター管理、保育器など

その他の業務

経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)時の機器操作

院内教育

人工呼吸器をはじめ、各医療機器・技術の勉強会を行い、知識、技術面でサポートしています。



取得資格

透析技術認定士／透析技能検定2級／第2種ME技術者／呼吸療法認定士

臨床工学技士になるためには

各大学や専門学校の臨床工学科(または、それと同等の科)を卒業すると、国家試験受験資格が得られます。県内では小松短期大学(3年過程)があります。臨床工学技士についてもっと知りたい方は『日本臨床工学技士会』をネットで検索してみてください。

新入職員紹介

NEW FACE

今年、浅ノ川総合病院に
配属されたフレッシュな
メンバーを紹介します！
今回は看護部から2名を
紹介します！！

よろしく
お願いします！



職 種:看護師
配属先:東館5階

あら い
荒井 すみれ

Q1 ご自身の長所を教えてください。
元気！！ 何事も最後まで諦めない。

Q2 座右の銘を教えてください。
一期一会：患者さんとその家族、多くの
方との出会いを大切にしたい。

Q3 今後の抱負を教えてください。
先輩看護師のように豊富な知識と高度な
技術を身につけ、看護師として成長する。



職 種:看護師
配属先:本館5階

やま ぐち ま り か
山口 鞠里香

Q1 ご自身の長所を教えてください。
何事も一生懸命なところ。

Q2 座右の銘を教えてください。
不撓不屈

Q3 今後の抱負を教えてください。
人から信頼され、責任感ある看護師に
なりたい。

行事レポート

第6回相談員・ケアマネ合同研修会

医療福祉相談室では、日頃からお世話になっている施設の相談員様やケアマネジャー様との合同研修会として、「医師による医学講座」を開催しております。

当院の医師が交代で講師をつとめるこの講座は、おかげさまで多くの皆さまからご好評をいただいております。

第6回目は、6月13日に、喜久山明泌尿器科部長による「泌尿器科よもやま話」をテーマに開催しました。雨模様だったにも関わらず、今回も100名を超えるご参加をいただき、会場に入りきれないほどの大盛況となりました。

講座内容は日常の業務にも関連が深く、参加者の方々からは、「先生の話が直接聞けてうれしい」「分かりやすかった」といったお言葉をたくさんいただいております。

今後も皆さまのご意見を参考にしながら、この研修会を定期的で開催し、地域を支える専門職の方々との交流の場にしていきたいと思います。



行事レポート

平成26年5月16日(金)・5月17日(土)

春の健康フェア2014を開催しました！

今年も2日間、当院で春の健康フェアを開催しました。骨密度測定や看護師、管理栄養士による健康相談などを行い、多くの方々にご来場いただきました。また、外科の道輪医長による講演も行われました。



秋には「ふれあい感謝祭」を行う予定ですので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



平成26年6月8日(日)

第20回浅ノ川グループ関連施設 ソフトボール・小運動会が開催されました。

今年で第20回となる浅ノ川病院グループとその関連施設によるソフトボール・小運動会が健民海浜公園軟式野球場で開催されました。

当日は天候が心配されましたが、快晴に恵まれ、合わせて13の医療機関や施設が参加し、当院からは小市理事長を始め、多くの職員が参加しました。

当院ではこのような行事を通じて、多職種の職員同士の交流、さらにグループ病院とその関連施設との交流を深め、チーム医療や地域医療をより強固なものにしていきたいと思っております。



平成26年7月5日(土)

七夕納涼コンサートを開催しました！

当院本館1階正面ロビーでリハビリテーションセンター職員 佐藤さんによる七夕納涼コンサートを開催しました。



当日は多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。また、来場者からはサプライズで佐藤さんに花束が贈られました。

これからも当院では、入院患者さんや地域の方々が喜んでいただけるようなイベントを実施していきたいと思っております。



浅ノ川総合病院の看護師が ミニキッズニア in 小坂小学校に参加しました！



平成26年7月12日（土）に金沢市内にある小坂小学校で開催されたミニキッズニアの看護師ブースに出前講演として参加しました。

ミニキッズニアとは、子供たちにいろいろな職業を実際に体験してもらい、仕事の大変さ、将来になりたい職業、親へのありがたさを分かってもらうイベントです。当院の看護師ブースには46名の児童が参加しました。

児童達は「看護師の仕事とは？」「看護師になるには？」といったお話を聞いたあと、実際に血圧測定、模擬注射、包帯巻き、聴診器、車椅子介助を体験しました！

感想を聞くと「むずかしかったけど、おもしろかった」「将来は看護師になりたい」という声が聞こえました！



あさのちゃんと
記念撮影！



当院では無料で県内の公民館、企業、学校などに講師が出向き、健康に関する「出前講演」を行っています。演題一覧、お問い合わせは当院 HP を参照していただくか、地域医療連携室までご連絡ください。

行事レポート

定位放射線治療セミナー

第6回目となる定位放射線治療セミナーを、平成26年6月13日(金)金沢ニューグランドホテルで開催いたしました。北陸・甲信越から多数の参加を賜り、合計62名の盛況な会となりました。

最初の講演は当院脳神経外科部長 光田幸彦先生より「施設共同研究(JLGK0901)からみた多発脳転移に対するガンマナイフ治療の有用性」について話されました。

次に厚生連高岡病院 がんセンター長 高仲強先生より「肺癌に対するノバルリスでの定位放射線治療IMRT」について話されました。

続く講演では金沢大学心肺・総合外科 呼吸器外科 科長 松本勲先生より「呼吸器外科領域における患者さんに優しい肺癌低侵襲手術」について、金沢大学附属病院 呼吸器内科 臨床教授 笠原寿郎先生より「肺癌化学療法の最新の知見」について講演がなされ、内科・外科双方からの治療と最新の話題について話されました。

講演会終了後には情報交換会が開催され、ほぼ全ての参加者が引き続き参加し親睦を深めました。

今後も当院は定位放射線治療の充実と発展に努めていきます。



光田 幸彦医師

正面ロビーにあさのちゃん人形を設置しました！

当院の本館1階正面ロビーに“あさのちゃん人形”を設置しました。あさのちゃんは病院開設60周年を記念したラッピングバスのマスコットとしてスタート。平成24年5月の金沢城リレーマラソンで着ぐるみ、ゆるキャラデビューしてから早2年。皆さんに支えられて、ここまできました。これからも広報宣伝部長として頑張っていきますので、よろしくお願いします。



編集 後記

青い空と白い雲。あとは、さわやかな風がふけば夏の暑さも心地よいもの。

北陸の夏は湿気も手伝ってしっとりしていますが、女性のお肌にはそのくらいの潤いは必要かと思います。汗でべたついた時は、金沢名物として有名な、金箔入りのあぶらとり紙を使ってみてはいかがでしょうか。

さて、北陸新幹線も来春には金沢開業となるため、金沢駅構内や周辺は、新しい施設のオープンや整備などで賑わっている感じがします。まさに『金沢の顔』としておもてなしの準備は着々と進んでいますね。

当院の顔として自称している私『あさのちゃん』ですが、このたび分身として人形を作っていただきました。(上の記事をみてね。)動くことはできませんが、まさに看板娘としてみなさまに気持ちよく治療をしていただく空間をつくっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。



あさのちゃん宛に
暑中お見舞いを
いただきました！
ありがとうございます。

問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101(代) メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp